

設備機器利用技術講習会のご案内

【真円度測定機、超精密非球面測定機】

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成25年2月12日（火）14：15～16：15

◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）
当日は、講習開始時間前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、ご集合ください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：5名

※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申込いただけます（無料）。

◆費 用：無料

◆申込み先：大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：真円度測定機、超精密非球面測定機

・真円度測定機

エレクトロニクスや自動車等の分野において用いられる高精度部品には、円筒部分を有するものが数多く存在しています。また、旋盤のような回転対称形状を製作するための工作機械が盛んに利用されていることからわかるように、一般の機械部品でも多くのものが円形断面を有しています。このような円形状から構成される立体形状を評価するためには、高精度な回転機構を有する測定機が必要となります。本装置は、測定対象を高精度で回転させるテーブルと検出器を垂直・水平に駆動する機構を有し、円断面を有する試料の形状精度（真円度、円筒度等）を評価することが可能です。

・超精密非球面測定機

近年の光学機器や情報関連機器の高機能化に伴い、それらに内蔵される光学部品（レンズ、ミラー等）には高度な非球面形状が求められています。非球面光学部品やその金型を高精度に製作するには、高精度な加工機に加えて高精度な形状測定機が不可欠です。本装置は非球面専用の形状測定機であり、原子間力プローブと呼ばれる独自の測定子を備え、また測定物の設置誤差を計算処理によって解消するオートアライメント機能を有しています。これらの機能により、急な傾斜をもつ非球面形状であっても、高精度かつ短時間で測定を行うことができます。

本講習会では、上記装置の測定原理ならびに操作方法を解説します。

◆講習担当：大阪府立産業技術総合研究所（TEL:0725-51-2518）

加工成形科 主任研究員 足立 和俊、本田 素郎

